



令和7年度 流山小学校 学校経営グランドデザイン

地域とともにつくる日本一楽しい学校
～歴史と伝統を大切に 未来に向かって～

学校教育目標

人間性豊かなたくましい児童の育成

めざす子どもの姿

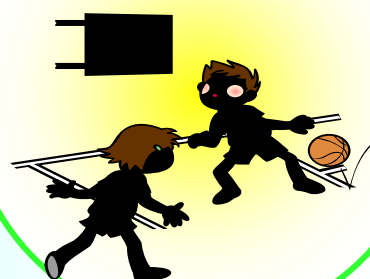
進んで考える子ども



よいと思うことを
進んで実行する子ども



進んで運動する子ども



◎自ら考え、伝え合う力を 育てる

- ①主体的・協働的な学びを支える学級経営の充実
- ②児童の興味や関心を生かし、意欲や学習効果を高める「わかる授業」の実践
- ③ICTを活用した授業づくり
- ④地域を生きた教材に、人材・施設、外部講師の積極的活用
- ⑤学校図書館の利用による読書活動の推進

◎自分のよさを認め、他者と 協働しながら生きる心」を育 てる

- ①多様性を理解する国際理解教育の推進
- ②道徳教育推進教師を中心とした道徳教育の充実（週1時間の道徳授業の工夫）
- ③児童を主体とした自発的・自治的な特別活動の展開
- ④自分の良さに気づかせ、将来に希望を持たせるキャリア教育の推進（「キャリアパスポート」の活用）
- ⑤「差別をしない・差別を許さない」学校・学級経営
- ⑥自他の「生命」を大切にす
る心の育成

◎進んで運動し、健康に生 活する実践力を育てる

- ①体力・運動能力の向上（「遊・友スポーツランキングちば」等の活用）
- ②「自分の命は自分で守る」防災意識の育成と事故や感染症予防を含めた健康・安全教育の推進
- ③学校給食を活用した食育の推進



教育活動の柱

1. 「地域とともにつくる」特色ある学校づくり（地域との連携）に努める。
2. 生きる力につながる確かな学力を身につけるため、教育活動全体を通して、主体的に学び・思考し・表現する力の育成を図る。（協働的な学び+個別最適化な学び）
3. 校内組織の機能化と活性化に努める。
 - ①教育相談の充実と校内の情報共有（スクールカウンセラーとの連携）
 - ②特別支援教育コーディネーターを中心に校内委員会・関係機関と連携した支援体制の推進
4. 学校を可能な限り保護者・地域に開き、信頼される学校づくりに努める。（ホームページ等の活用により子どもの様子が「見える」学校に）
5. 保・幼との架け橋期教育及び小中一貫教育の充実を図る。
6. 確かな児童理解と組織的対応を重視した生徒指導を推進する。
 - ①虐待やいじめを察知する感性とスピーディーな報告・連絡・相談（流山市子ども家庭課・指導課いじめ防止相談対策室等関係機関との連携）
 - ②組織的ないじめ防止対策・いじめの未然防止・早期発見・早期対応（流山市スクールロイヤーの活用：いじめ防止授業・職員研修）
 - ③個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成及び効果的な活用）

目指す学校の姿

誠意・スピード・清潔感」をモットーに、
保護者・地域に開き、信頼される温かい学校

目指す教師の姿 3つの保障

- ①「安心・安全」
 - ㊦ 最悪を想定し ㊦ 慎重かつ
 - ㊦ すみやかに ㊦ 誠意をもって
 - ㊦ 組織で対応する教師
- ②「学び」
自らが主体的かつ謙虚に子どもとともに学ぶ教師
- ③「人権」
子どもの人格を尊重し、一人一人の特性を認め、生かす教師

目指す職場の姿 チーム流山小

- ①全教職員でつくる温かく風通しのよい職場 → 不祥事・学校事故ゼロに
- ②「働き方改革」「業務改善」子どもと向き合う時間や教材研究の時間が確保できる職場
→新校務用パソコンの活用推進
- ③「ワークライフバランス」を保ち、豊かな感性を持てるよう心（時間）のゆとりのある職場